

# 卒業者の進路状況

高等学校教育課

昭和六十二年公立高等学校全日制課程の卒業者の進路状況は、次のとおりである。(昭和六十三年五月一日実施の学校基本調査による。なお六十二年以前の数値も、すべてその年度に対する学校基本調査によるものである。)

一、概況

卒業者の総数は、男子一万二千二百五人、女子一万五百二十八人、計二万七千三百三十三人である。

大学等(大学、短期大学、大学、短期大学の別科及び高等学校専攻科を含む)への進学率(就職進学者も含む)は、昭和四十九年度二十七・四パーセントを最高に年々減少傾向を示していたが、六十一年度には二十四・二パーセントと、五十三年度以来最高を示した。

しかし、六十二年度は、二十三・一パーセントと前年度に比して一・一ポイント減少した。

男女別では、前年度に比し進学率は男子二・三ポイント減少し、女子は〇・二ポイント増加した。(図1の①参照)

就職率は、五十年年度以降五十七年度を除き、五十九年度まで年々増加していたが、六十年年度からは二年連続して減少した。しかし、六十二年度は四十九・九パーセントと前年度に比し〇・三ポイント増加した。(図1の②参照)

就職率は、五十年年度以降五十七年度を除き、五十九年度まで年々増加していたが、六十年年度からは二年連続して減少した。しかし、六十二年度は四十九・九パーセントと前年度に比し〇・三ポイント増加した。(図1の②参照)

図1 大学進学率と就職率の推移 (公立全日制)

